

持続可能な医療・看護を創る

2013.9.12 烏丸京都ホテル

参加者・アンケート回答者 62人

講演

1新たに学んだこと

- (34)オーナーシップの大切さ
- (29)ブレインライティング
- (27)学びと創りの意味・違い
- (23)創造的問題解決、創造的問題解決の過程
- (16)何が問題かを考え、解決できる内容に直す
- (15)ほめることで創造性を伸ばすことが可能になる
- (13)創りが大事 HOWだけでなくWHAT WHYが重要
- (10)叱るの心理的意味とただすとの違い
- (10)ブレインストーミング
- (5)アイデアを得ること
- (2)グループ討議の進め方

2印象に残ったこと

- ブレインストーミング、ブレインライティングの内容・方法。(13)
- ブレインストーミングでは・声の大きい人が中心になってしまう・問題共有ができなくなる 欠点を踏まえ実践するとよい。
- 持続可能な解決に繋がる問題に書き換えることが大切。(10)
- オーナーシップを創ること、オーナーシップは何かということ(9)
- 自分の考えをはっきりさせる能動的な構えが必要。考える訓練の大切さを学んだ。(4)
- 日本の教育と西欧の違い。受身の教育で創造性が育たない。(3)
- 「叱る」と「ほめる」の間に「ただす」ということがある。(2)
- 学びと創造は違う。(2)
- ほめることやそのほめる言葉が大切。
- 自由奔放なアイデアほど良い。
- すべてお膳立てするのではなく、自分たちで考えさせる働きが大切。
- アインシュタイン博士の言葉。
- 物事には間違いがあるという前提で考える必要がある。
- 世界を意識して、経営・理念・日頃の仕事を考えていく必要がある。

3役立ち

(全く役に立たない) 1 (0) 2 (2) 3 (33) 4 (24) 5 (3) (非常に役立つ)

4内容レベル

(非常に易しかった) 1 (0) 2 (4) 3 (37) 4 (16) 5 (5) (非常に難しかった)

5新たなまなびや取り組みを開始しようと思いませんか

(全く思わない) 1 (0) 2 (3) 3 (25) 4 (29) 5 (5) (とても思う)

要望・気づいたこと

- マイクのせいか話している語尾が小さく受け取りにくかった。(8)
- 具体的な事がもっと聞けると良かった(3)
- 講義で少し理解できなかったが、最後の司会者のまとめで理解できた。(2)
- 先生からの質問に私たちが答えたとき先生からもっと褒めてもらえる嬉しい。
- 創造的問題解決で少し楽に問題解決できるような気がした。
- 問題そのものを練って抽出することの重要性、創造的問題解決のテーマとすることの大切さを理解
- 問題解決の方法論の一つとしては学びになった。
- 管理職として課題解決する上で活用できる事があったので進めたい。
- 温かく、諸外国の事情に精通した話に感銘を受けた。
- 学びと創りの心理学をもっと深く聞きたかった。
- 前半二時間の講義は長かった。

創造的問題解決ワークショップ

1創造的問題解決の必要性の理解

(全く分からない) 1 (0) 2 (1) 3 (21) 4 (35) 5 (5) (非常によく分かった)

2目標・願い・挑戦/問題設定方法の理解

(全く分からない) 1 (0) 2 (5) 3 (23) 4 (34) 5 (0) (非常によく分かった)

3ブレインライティングの実施方法・アイデアの集約方法の理解

(全く分からない) 1 (0) 2 (0) 3 (15) 4 (35) 5 (12) (非常によく分かった)

4職場の人間関係の改善・新人の成長促進に役立つか

(全く役に立たない) 1 (0) 2 (2) 3 (23) 4 (33) 5 (4) (非常に役立つ)

要望・気づいたこと

グループワークすべき内容・方法を理解するのに時間がかかった。(6)

ブレインライティングを研修に取り入れたい。(3)

ブレインライティングをグループでやり、色々なアイデアが出て興味深かった。(3)

みんなで考えることが意思統一に繋がる気がした。皆で考えることから皆でやろうと思った。(2)

実践を二回出来れば良かった。

グループワークは緊張するけど、他の人の意見を聞けるので良かった。

5

乳した